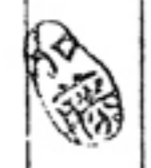


發送	第	號	大正	年	月	日	判決
番號			大正	年	月	日	日扱濟
							淨寫校
							合

大正十一年八月一日



校長

銘件 外國人講師解囑、義開申

講師 關 恩 福

右者本校講師ニ有之ハ茲本人、頼ニ依リ七月三十一日ヲ以テ右講師、囑託ヲ

議案野紙

小樽高等商業學校

解キ以間此段及同申比也

大正十一年八月一日

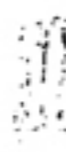
校長

文部大臣宛

發送	第	號	大正	年	月	日	判決
番號			大正	年	月	日	報濟
淨寫校							合

大正十一年七月廿一日



校長 

銘件 外國人講師關恩福解囑ノ件

辭令案

講師關恩福

依願講師ノ囑託ヲ解ク

議案野紙 小樽高等商業學校

在勤中職務勉勵ニ付慰勞トシテ
金貳百圓給與ス

大正十一年七月三十一日

校長

講師 關 恩 福

依願講師、囑託ヲ解ク
在勤中職務勉勵ニ付慰
勞トシテ金貳百圓給與ス

大正十一年七月三十一日

小樽高等商業學校

辭令用紙

供商
校長

文 部 省

文部省小高祕三號

小樽高等商業學校長
本年七月十一日付祕第六三號上申
外國人講師關恩福ニ勉勵手当當金
給與ノ件許可ス

大正十一年七月二十二日

文部大臣鎌田榮吉



5

文 啓 管

文啓大臣藤田榮吉

大正十一年六月二十二日

送與ノ所 留可ス

本邦人勸業學校 恩給ニ爲シテ金

本邦人勸業學校 恩給ニ爲シテ金

小樽高等商業學校

文啓管 小樽三報

二

海邊小樽三

等高等學校

房次郎殿

祝儀



ノ
九

大正
十
年
四
月
一
日

東京市外戸塚町字諏訪百八十二番地

服部宇之吉

電話番町五一六〇番

初任者に岡田福氏退任

と時期七月下旬と推定し

其の不知何人功任を待

中何れか一方取入は方

与中退任又後任者岡田益良氏

には七月朔の事案に於て

扱付く事せん可申人未定

と上赴任の期は未定と推定

可任後任は山崎退任者

中侍の又一方取入は方々

与中送章又後任吉岡益良氏

には七月朔より東宮に侍り

授侍人せしむる事由人奉出

之止赴任の期は来月迄に於

可任後歴日由迄了す事

二と云初

之は古由若中一と云

印

四月

後部守吉

伴房次郎殿